

研究課題と実施課題の対応表

基本方向の大柱	基本方向の中柱	研究課題	小課題	担当部
東日本大震災及び原子力災害からの復興	放射性物質が海面漁業に与える影響	生態特性に応じた蓄積過程の解明	福島県沿岸海水のセシウム137濃度の水平分布	水産資源部
			イシカワシラウオにおける放射性セシウム濃度の経時変化	
		海洋生物への移行に関する調査・研究	福島県沿岸における海水の放射性セシウム濃度の経時的傾向	漁場環境部
			福島県沿岸における海底土の放射性セシウム濃度の傾向	
		放射性物質蓄積の個体差に関する研究	沿岸性底魚類における年級別放射性セシウム濃度の経年変化	水産資源部
		水産物における放射性物質低減技術の開発	ホシガレイの放射性セシウムの取込、排出過程の解明(放射性セシウムの蓄積試験)	種苗研究部
		加工処理による放射性物質低減技術の開発	ヒトエグサの加工に伴う放射セシウムの動態	相馬支場
ヒトエグサの加工に伴う放射セシウムの動態(佃煮)	漁場環境部			
松川浦における放射性物質の移行・蓄積に関する研究	松川浦における放射性物質の移行、蓄積及び潜在的生物影響に関するモニタリング調査	相馬支場		
安全・安心な県産農林水産物の安定供給と生産者	安全・安心な農林水産物生産技術の確立 農林水産物の安定供給技術の確立	貝毒被害防止技術に関する研究	貝毒に関する動向把握	漁場環境部
		栽培漁業対象種の放流技術に関する研究	木戸川における2016年度サケ来遊状況と2017年度来遊予測	栽培漁業部
			ホシガレイの放流技術に関する研究	
			栽培漁業再建に資する省力・低コスト生産技術の開発(①ヒラメ受精卵に与えるヨウ素剤の影響)	種苗研究部
			栽培漁業再建に資する省力・低コスト生産技術の開発(②光照射によるヒラメ稚魚の成長促進)	
		沿岸性底魚類の生態と資源動向の解明	沿岸性底魚類の生態と資源動向の解明(ヒラメ)	栽培漁業部
			アカムツの生息場水温と分布移動	
			ヒラツメガニの分布拡大	
			ガザミ科2種の資源動向	
			震災後の沿岸トロール調査における魚種別分布密度	
		幼稚魚新規加入量調査		
		底魚資源の管理手法に関する研究	主要魚介類の資源動向	水産資源部
			キチジの生態と産卵期の解明	
		浮魚類の持続的利用に関する研究	主要浮魚資源動向調査(カツオ・マグロ類)	海洋漁業部
			主要浮魚資源動向調査(イワシ類、サバ類、アジ類等)	
			主要浮魚資源動向調査(サンマ)	
沿岸性浮魚の漁況予測技術の開発	シラス漁況予測の手法開発	海洋漁業部		
海況予測技術に関する研究	沿岸海況予測手法の開発	海洋漁業部		
海洋基礎生産に関する研究	コウナゴ等漁場形成要因の解析(クロロフィルa、水温を用いた手法)	漁場環境部		

		松川浦の増養殖の安定化に関する研究	アサリ資源増殖技術の開発 松川浦における幼稚魚生息状況調査 ヒトエグサの生育と環境に関する研究 松川浦におけるアマモ場面積の経年変化	相馬支場
		魚類の防疫に関する研究	サケ増殖指導事業	栽培漁業部
競争力と個性のある県産農林水産物のブランドの確立	優良種苗、改良家畜等の利活用技術の確立	水産生物の種苗性改善に関する研究	ホシガレイ優良種苗生産技術の開発(①H27種苗生産実績) ホシガレイ優良種苗生産技術の開発(②ホシガレイ希釈海水飼育試験) ホシガレイ優良種苗生産技術の開発(③仔魚期水温比較試験) ホシガレイ優良種苗生産技術の開発(④親魚養成技術開発－採卵・卵管理試験) 栽培漁業再建に資する省力・低コスト生産技術の開発(①ヒラメの受精卵に与えるヨウ素剤の影響) 栽培漁業再建に資する省力・低コスト生産技術の開発(②光照射によるヒラメ稚魚の成長促進) 栽培漁業再建に資する省力・低コスト生産技術の開発(③閉鎖循環飼育試験)	種苗研究部
自然・環境と共生する農林水産物の推進	環境負荷低減と農林水産物の持つ多面的機能を発揮させるための技術確立	漁場環境保全技術に関する研究(海面)	現状におけるアワビのCPUEに関する指標値 下神白漁場におけるアワビの年級群別成長比較 異なる漁場においてモニタリング検体として採捕されたアワビの特徴 震災後、操業自粛下でのアワビ資源状態	栽培漁業部

注) 大柱、中柱は、平成25年3月策定の「福島県農林水産物の試験研究推進方針(平成25～32年度)」のⅢ試験研究の基本方向に示された研究分野

注) 研究課題名は、「福島県農林水産物の試験研究推進方針」策定調整会議(H24. 12. 27)の資料「試験研究課題一覧」の大柱、中柱ごとの課題名